



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 晝馬 明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 2021年6月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	79,342	8.7	14,392	17.7	14,396	14.3	10,784	19.8
2020年9月期第2四半期	72,975	△1.9	12,228	△12.7	12,596	△12.2	9,003	△17.2

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 13,350百万円 (46.2%) 2020年9月期第2四半期 9,133百万円 (3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	69.66	—
2020年9月期第2四半期	58.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	274,812	223,851	81.1
2020年9月期	271,615	213,515	78.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 222,989百万円 2020年9月期 212,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年9月期	—	20.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	13.4	28,000	28.7	28,100	23.8	20,600	24.7	133.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	165,041,841株	2020年9月期	165,027,259株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	10,214,141株	2020年9月期	10,213,977株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	154,819,291株	2020年9月期2Q	154,804,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大、長期化という厳しい状況にありましたが、世界的な半導体関連需要が拡大するなど、一部に持ち直しの動きが見られるなかで推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き新型コロナウイルスの感染防止策を講じた上で事業を行いながら、市場要求に対応した製品開発や当社独自の光技術を活かした研究開発に取り組むことで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は79,342百万円と前年同期に比べ6,366百万円(8.7%)の増加となりました。利益面につきましても、営業利益は14,392百万円と前年同期に比べ2,164百万円(17.7%)の増加、経常利益は14,396百万円と前年同期に比べ1,800百万円(14.3%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,784百万円と前年同期に比べ1,781百万円(19.8%)の増加となり、増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により、PETなどの核医学検査装置向けの売上げが減少いたしましたものの、PCR検査などの検体検査装置向けの売上げが中国を中心に国内外での需要が高まり増加いたしました。また、産業分野における半導体検査装置向けの売上げも海外を中心に増加いたしました。

イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、歯科用のX線シンチレータの売上げが減少いたしました。しかしながら、産業分野におきまして、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジン及び半導体ウェハ検査装置向けの光源の売上げが、半導体市場の復調を受けて増加いたしました。また、非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げも、基板検査や車載用バッテリー検査向けがアジアを中心に増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は30,013百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は10,263百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、歯科用のフラットパネルセンサの売上げが、新型コロナウイルス感染症の影響からは徐々に復調傾向にあるものの、前年同期比では減少いたしました。一方で、X線CT向けのシリコンフォトダイオードの売上げは、国内外における継続的な需要の増加により好調に推移いたしました。また、産業分野におきまして、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ等の売上げが、半導体市場の復調により増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は36,579百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は9,846百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、検体検査装置向けのボードカメラの売上げが、北米を中心に増加いたしました。また、半導体故障解析装置も、半導体市場の復調を背景に、アジア及び欧州を中心に売上げが増加いたしました。さらに、遠隔病理診断に用いられる病理デジタルスライドスキャナの売上げが、海外における病院間ネットワーク需要の高まりを受けて増加いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は10,425百万円(前年同期比28.9%増)、営業利益は2,336百万円(前年同期比48.9%増)となりました。

[その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は2,323百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は265百万円(前年同期は営業損失522百万円)となりました。

(2) 新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について

新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響につきましては、国内外における感染再拡大懸念などの影響は依然として残っているものの、医用バイオ機器及び産業機器を始めとした各業界向けの売上げが順調に回復、増加していることなどから、当初見込みより前倒しして回復に向かっております。

(3) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産の主な変動は、未収入金（流動資産その他）が3,727百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が5,623百万円、現金及び預金が2,235百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ5,533百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産が減価償却による建物及び構築物の減少などにより2,257百万円減少したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,336百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,197百万円増加し、274,812百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が618百万円増加したものの、設備関係電子記録債務（流動負債その他）が5,274百万円、設備関係未払金（流動負債その他）が3,020百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ6,638百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、厚生年金基金解散損失引当金が503百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ500百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7,138百万円減少し、50,961百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が7,689百万円、為替換算調整勘定が2,313百万円それぞれ増加したことなどから、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10,335百万円増加し、223,851百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ6,417百万円増加し、75,191百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は17,944百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上などによるものであり、前年同期に得られた資金11,450百万円に比べ6,493百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は9,944百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出などによるものであり、前年同期に使用した資金14,706百万円に比べ4,761百万円の支出減となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は3,014百万円となりました。これは主として、配当金の支払額などによるものであり、前年同期に使用した資金3,418百万円に比べ403百万円の支出減となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期通期の連結業績予想につきましては、当社が事業展開している市場環境と直近の業績動向及び当社グループの業績予測を精査した結果、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として残っているものの、医用バイオ機器及び産業機器を始めとする各業界向けの売上げが順調に回復、増加していること並びに下半期想定為替レートの見直しも踏まえ、2020年11月9日付で公表いたしました連結業績予想を次の通り修正いたします。

なお、連結業績予想の前提となる下半期(2021年4月1日～2021年9月30日)の為替レートにつきましては、1米ドル=105円、1ユーロ=125円、1中国元=15.5円を想定しております。

通期連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	145,600	22,200	22,400	16,600	107.23
今回修正予想(B)	159,000	28,000	28,100	20,600	133.05
増減額(B-A)	13,400	5,800	5,700	4,000	—
増減率(%)	9.2	26.1	25.4	24.1	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,763	75,999
受取手形及び売掛金	32,220	37,844
有価証券	6,634	8,664
商品及び製品	11,541	9,610
仕掛品	21,609	22,949
原材料及び貯蔵品	10,362	9,922
その他	7,316	4,012
貸倒引当金	△155	△175
流動資産合計	163,293	168,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,092	45,967
機械装置及び運搬具(純額)	12,525	12,621
工具、器具及び備品(純額)	5,028	5,132
土地	16,933	17,048
リース資産(純額)	469	406
使用権資産(純額)	616	632
建設仮勘定	3,674	2,275
有形固定資産合計	86,341	84,084
無形固定資産		
顧客関連資産	1,911	1,858
その他	3,124	3,138
無形固定資産合計	5,035	4,996
投資その他の資産		
投資有価証券	3,081	3,371
繰延税金資産	11,226	11,022
その他	2,656	2,530
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	16,945	16,904
固定資産合計	108,321	105,985
資産合計	271,615	274,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,802	6,421
電子記録債務	6,030	5,721
短期借入金	1,511	1,735
1年内返済予定の長期借入金	69	39
未払法人税等	2,664	3,184
賞与引当金	4,500	4,359
その他	20,823	13,302
流動負債合計	41,402	34,764
固定負債		
長期借入金	6,280	6,260
厚生年金基金解散損失引当金	503	—
退職給付に係る負債	8,080	7,950
その他	1,834	1,986
固定負債合計	16,697	16,197
負債合計	58,100	50,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,964	35,008
資本剰余金	34,708	34,752
利益剰余金	166,357	174,046
自己株式	△20,795	△20,796
株主資本合計	215,234	223,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742	919
為替換算調整勘定	△2,152	161
退職給付に係る調整累計額	△1,144	△1,101
その他の包括利益累計額合計	△2,553	△20
非支配株主持分	834	861
純資産合計	213,515	223,851
負債純資産合計	271,615	274,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	72,975	79,342
売上原価	36,768	40,943
売上総利益	36,207	38,398
販売費及び一般管理費	23,979	24,006
営業利益	12,228	14,392
営業外収益		
受取利息	130	86
投資不動産賃貸料	42	34
為替差益	79	—
持分法による投資利益	22	—
その他	214	295
営業外収益合計	489	415
営業外費用		
支払利息	28	23
不動産賃貸費用	63	61
為替差損	—	187
持分法による投資損失	—	87
その他	29	51
営業外費用合計	121	411
経常利益	12,596	14,396
特別利益		
固定資産売却益	37	7
投資有価証券売却益	1	4
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	164
特別利益合計	39	176
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	23
減損損失	431	—
投資有価証券評価損	40	53
特別損失合計	479	76
税金等調整前四半期純利益	12,155	14,496
法人税等	3,120	3,707
四半期純利益	9,035	10,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,003	10,784

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	9,035	10,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	176
為替換算調整勘定	272	2,359
退職給付に係る調整額	△5	43
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△16
その他の包括利益合計	97	2,562
四半期包括利益	9,133	13,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,101	13,317
非支配株主に係る四半期包括利益	32	33

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,155	14,496
減価償却費	5,857	6,533
減損損失	431	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△522	△159
受取利息及び受取配当金	△157	△112
支払利息	28	23
持分法による投資損益(△は益)	△22	87
売上債権の増減額(△は増加)	△427	△4,741
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,158	1,624
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,047	△482
その他	617	3,729
小計	14,756	20,999
利息及び配当金の受取額	140	112
利息の支払額	△28	△23
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,417	△3,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,450	17,944
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	149	2,191
有価証券の取得による支出	△3,648	△631
有価証券の償還による収入	652	631
有形固定資産の取得による支出	△11,347	△11,694
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△313	—
投資有価証券の取得による支出	—	△64
その他	△198	△376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,706	△9,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△153	222
長期借入金の返済による支出	△82	△49
配当金の支払額	△3,104	△3,102
その他	△77	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,418	△3,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	1,432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,582	6,417
現金及び現金同等物の期首残高	68,521	68,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,938	75,191

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	27,734	34,701	8,089	70,525	2,450	72,975	—	72,975
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	892	517	21	1,431	213	1,644	△1,644	—
計	28,626	35,219	8,110	71,956	2,663	74,619	△1,644	72,975
セグメント利益又は 損失(△)	9,721	10,244	1,569	21,535	△522	21,012	△8,784	12,228

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,784百万円には、セグメント間取引消去△640百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,143百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他(ホテル事業)」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において431百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	30,013	36,579	10,425	77,018	2,323	79,342	—	79,342
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	434	184	6	626	435	1,061	△1,061	—
計	30,448	36,764	10,432	77,644	2,759	80,403	△1,061	79,342
セグメント利益	10,263	9,846	2,336	22,446	265	22,712	△8,320	14,392

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,320百万円には、セグメント間取引消去△440百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,879百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。